

# 平成 28 年度 学校目標 (有馬高等学校)

	視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>① 特色ある外国語教育と国際理解教育を実践し、国際的視野を持った人材を育成する。</p> <p>② 「思考力・判断力・表現力」を育成する授業を目指し、授業改善を実施する。</p> <p>③ 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>① 英語コースの発展的解消に伴い、特色ある外国語教育と国際理解教育を学校全体の取組として発展させる。</p> <p>② アクティブラーニングに関する理解を深める。</p> <p>③ 生徒が主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>① 実用英語技能検定の受検者が年間延べ 150 名を超える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語コースにおいて英語宿泊研修を実施し、施設、時期、最大可能参加生徒数等について実態を把握する。</li> <li>・海外姉妹校等の生徒受入を全校規模で実施する。</li> <li>・諸外国のユネスコスクールとの交流を図る。</li> </ul> <p>② アクティブラーニングについての学習会を開催する。また若手教員の授業力向上に向けた学習会を実施する。</p> <p>③ 朝学習を継続的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課業日及び長期休業中の補習を実施する。</li> </ul>	<p>① 延べ 150 名以上の生徒が実用英語技能検定を受検したか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語宿泊研修継続の課題を把握し、その対策を講じたか。</li> <li>・海外姉妹校等からの生徒全員を本校生徒宅にホームステイさせ、交流を深めることができたか。</li> </ul> <p>② アクティブラーニング及び若手教員の授業力向上に向けた学習会が実施できたか。</p> <p>③ 朝学習を継続できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補習を実施することができたか。</li> </ul>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>① 部活動の活性化を進める。</p> <p>② 交通安全指導を通してマナーの向上と事故防止に取り組む。</p> <p>③ 人権尊重の精神を養う。</p> <p>④ 生徒の個に応じた教育相談体制を確立する。</p>	<p>① 全部活動への支援を予算配分、活動場所、顧問配置等で推進する。</p> <p>② 自転車乗車マナーの向上を図り、交通事故防止を目指した交通安全指導を充実させる。</p> <p>③ いじめ防止、SNS 問題に対応した指導を充実させ、安全で安心した環境づくりに努める。</p> <p>④ 校内の教育相談体制を確立し、個に応じた支援を実施する。</p>	<p>① 部活動が積極的に活動できる環境作りとともに、学習時間を確保する。</p> <p>② 交通安全教室の実施と地元警察との連携を図った交通安全指導を定期的に行い、自転車乗車マナーの向上と交通事故防止に取り組む。</p> <p>③ いじめアンケートを年間 2 回実施し、個人面談を通して実態把握に努める。また、外部講師による講演会を実施し、生徒の意識向上を図る。</p> <p>④ 学年ごとに教育相談担当者を配置し、管理職、生徒、保護者、カウンセラーと連携し、ケース会議を通して学校全体での支援を図る。</p>	<p>① 部活動の加入率を高めることができたか。</p> <p>② 交通事故を防ぐことができたか、また、マナーの向上が図れたか。</p> <p>③ いじめ問題や SNS 問題のない環境づくりができたか。</p> <p>④ 個に応じた適切な支援ができ、問題解決につながったか。</p>

3	進路指導・支援	<p>①一般受験の比率を上げるなど、生徒がより高いレベルを目指して第一志望を設定し、進路実現を果たすことができるよう支援する。</p> <p>②一人ひとりの希望に合った支援を行うために、相談体制の充実を図る。</p>	<p>①一般受験に対応できる学力を身につけさせるための支援体制を確立する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬試験の結果分析や進路講演会など、外部の教育力を活用し進路支援の充実を図る。</li> </ul> <p>②面談などを通して、生徒・保護者へのきめ細かい進路指導に努める。</p>	<p>①漢字検定や校外の模擬試験に積極的に取り組むよう促し、生徒の学習意欲を高め進学実績の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬試験の実施ごとに外部教育機関等による結果報告会を開き、生徒の学力の推移を把握するとともに、大学見学会や外部講師による進路講演会を計画的に位置づけ、進路実現に役立つよう支援する。</li> </ul> <p>②個人面談だけでなく、適切な時期に保護者面談等も設定し、生徒や保護者とともに進路に対する共通理解を深める。</p>	<p>①一般受験の生徒の比率が昨年度の4割から5割以上に増えたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の教育力を活用し、模擬試験の結果報告会などを計画的に実施できたか。</li> </ul> <p>②個人面談を年2回、保護者面談を年1回実施できたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①HPを活用して学校行事など本校の教育活動を地域に広報し、理解を深めてもらうとともに地域に貢献できる本校の役割を研究する。</p> <p>②海老名市や地元自治会などと連携し、災害への備え、対応を徹底する。</p>	<p>①学校評議委員会等から地域貢献につながる情報を収集し、幅広い連携活動につなげていく。</p> <p>②防災意識を高め、地域と連携して地震・洪水等発生時の避難誘導を図る。</p>	<p>①地域が必要とする情報で、学校として発信できる情報を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の小中学校などとの連携活動を通じて、生徒一人ひとりが社会における有用感を持てるような機会を増やす。</li> </ul> <p>②日ごろから地震・洪水等の防災意識を高めるとともに、地域と連携した防災計画を策定し、協働して防災訓練を実施する。</p>	<p>①地域と協働して発信できる情報を提供できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の教育機関等との連携がどのくらいできたか。</li> </ul> <p>②地域と連携した防災計画を策定できたか。また協働で防災訓練を実施できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①IT環境の整備改善に努める。</p> <p>②HPを活用した中学生対象の情報発信を充実させる。</p> <p>③学びを支え、快適で安心・安全な教育環境の整備に努めるとともに、事故・不祥事防止の徹底を図る。</p>	<p>①ICTを活用した授業ができる環境を整える。</p> <p>②月に1回以上HPの情報を更新する。</p> <p>③生徒が安全かつ快適に学校生活を送ることができる校内環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報管理や財務関係の事故防止、安全管理に努める。</li> </ul>	<p>①タブレット、書画カメラなどを授業で活用するための使い方を周知する。</p> <p>②学校行事などの事前事後の情報提供、月間行事の迅速な更新を行う。</p> <p>③校内の各箇所を再点検し、必要に応じて安全対策を講じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務全般において、確認・点検を徹底し、事故・不祥事のない校務運営に努める。</li> </ul>	<p>①ICTの活用方法を周知したか。</p> <p>②月1回以上、新しい情報に更新できたか。</p> <p>③快適な学習環境、生活環境の維持に取り組めたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒への安全対策が適切であったか。</li> <li>・事故防止の観点に立って、公金や個人情報適切に取り扱えたか。</li> </ul>